

介護・福祉事業者様向け 既存事業に縛られない 業績UPの成長戦略大公開 障がい福祉事業の「始め方」

単月月商**450万円** 営業利益**20%+** 就労支援事業 保険収入**650万円**を達成する

スイーツ専門店 × 障がい事業

地方出店
可能

職人
不要

介護業種
から
業態付加
できる!

鹿児島県「天文館果実堂」

グジョブグループ就労支援利用者 計**81名**

就労継続支援事業で、高い保険外収入
(スイーツ店の売上)を得られる理由とは?

- ✓人口が減少している鹿児島で大人気と話題!
おしゃれでおいしいスイーツ店
- ✓単店月商450万円、営業利益20%超え、
保険収入が毎月650万円以上という高収益事業へ成長!
- ✓実は人手不足がきっかけで始めた障がい者雇用・
働きがいを持てる職場を実現するスイーツ店

成功事例レポート



特別
講演

天文館果実堂
一般社団法人グジョブかごしま
代表理事 宮之原 綾子氏

／セミナー受講前に**実際の就労継続支援の現場を見てみたい...**という方必見!／



『生』の現場をご覧ください

現場視察動画の
ダイジェストはこちら!

今話題の**フルーツサンド**やお芋スイーツの
成功事例を紹介

WEB開催 2022年 2月14日(木)・24日(木)・3月2日(水)・9日(水)・18日(金)・25日(金) 13:00▶16:00 (ログイン開始12:30~)

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま、および関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

主催



明日のグレートカンパニーを創る
Funai Soken

スイーツ専門店×障がい者雇用 成功事例セミナー

お問い合わせNo.S081264

船井総研セミナー事務局

E-mail : seminar271@funaisoken.co.jp

※お問い合わせの際は「セミナータイトル・お問い合わせNo.・お客様氏名」を明記の上、ご連絡ください。

株式会社 船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研 大阪本社ビル

WEBからお申し込みいただけます。(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。)→ 081264



地方の大人気スイーツ専門店！

月商450万円営業利益20%超え

「天文館果実堂」

鹿児島市天文館エリアにて店舗を構えるフルーツパーラー「天文館果実堂」

女性や若い層のニーズを獲得し、人気を博しているが、

実は3分の2以上が障がい者スタッフ。高収益事業を展開し、さらに福祉事業に力を入れ社会貢献を目指す、一般社団法人グッジョブかごしまの事業モデルを解説！

私たちの 福祉事業に対する考え方

「多様な仕事を、障がいがある方の一般就労への訓練としてつくりたい、健常者と障がい者がまじった社会があっても良いのではないか」そう感じたのが、グループ会社である食品会社で、人手不足の解消のための就労継続支援A型を開設し、障がいがある人と働いた時でした。これまでの障がい者雇用という“障がい者でもできる”工場での単純作業や清掃といった仕事に絞られがちでしたが、実際私たちが障がい者を雇用してみると、確かにそれぞれ得意不得意の有無や業務の切り出しの必要性はありますが、問題なく業務をこなしてくれるところか、殺伐としていた会社環境はコミュニケーションが増え、穏やかになりました。

障がいの有無を問わず、個人の違いを受け入れるということが、会社をあげてきたのだと思います。その時から多様な人が生き生きと働く会社をつくりたい、鹿児島に貢献できる会社になりたいと決心いたしました。

福祉事業の利用者(障がい者)の方々は保護されるべき対象と強く思われていますが、私たち企業が本来にやるべきことは、多額の寄付でも同情でもなく、障がい者が生き生きと働け、働いた分きちんと工資や給与がもらえる職場をつくることです。仕事を通して人の役に立ち、認められ感謝される仕事を彼らのために創ること、社会の一員として生きていける機会を提供すること、それが地元企業がやるべきことなのです。

そんなこんなで、地域活性のインパクトと障がい者の工資アップのために起ち上げたのが、一般社団法人グッジョブかごしまが運営するフルーツパーラー「天文館果実堂」です。ありがたいことにメディアやSNSでも取り上げられていく機会が増えましたが、障がい者を雇用していることは一切謳っていません。なぜなら、障がい者が作ったから買ってもらえよといった思いで来店していただくのではなく、おいしいパフェを提供することでもそれを気に入っていただき、リピートしていただくことを使命としているからです。

私たちは、一つでも多くの企業が福祉事業の参入を検討され、一箇所でも多くの魅力ある、障がい者が生き生きと働く職場ができることを望んでいます。

障がい者が生き生きと働く、 機会と場所を提供することが企業の使命



商材を絞り、生産性アップ 高収益を実現

「天文館果実堂」は、旬や季節のフルーツを使用したパフェに特化した店舗です。商材を絞り込むことで、障がい者スタッフへの研修がしやすくなり、スタッフも製造などの業務を早く習得ができるようになりました。また、生産性がアップし、専門店として高品質な商品をお客様に提供することが可能になりました。営業利益は単月で20%を超えています。

カットや盛り付け、下処理加工など、パフェの製造工程をできるだけ細かく分け、それぞれの特性や体調に合わせて、一般スタッフと障がい者スタッフが仲間として働いています。

1日あたり、障がい者スタッフは15名勤務しており、店舗の3分の2が障がい者スタッフです。スタッフの欠勤をできるだけ少なくするため、一定日数以上の勤務でパフェ無料券を配布するようにになるとやる気がぐっと増して欠勤が少なくなりました。また、接客や、商品の質を保つための研修を月に1回開催しており、きめ細かいフォローを心掛けています。

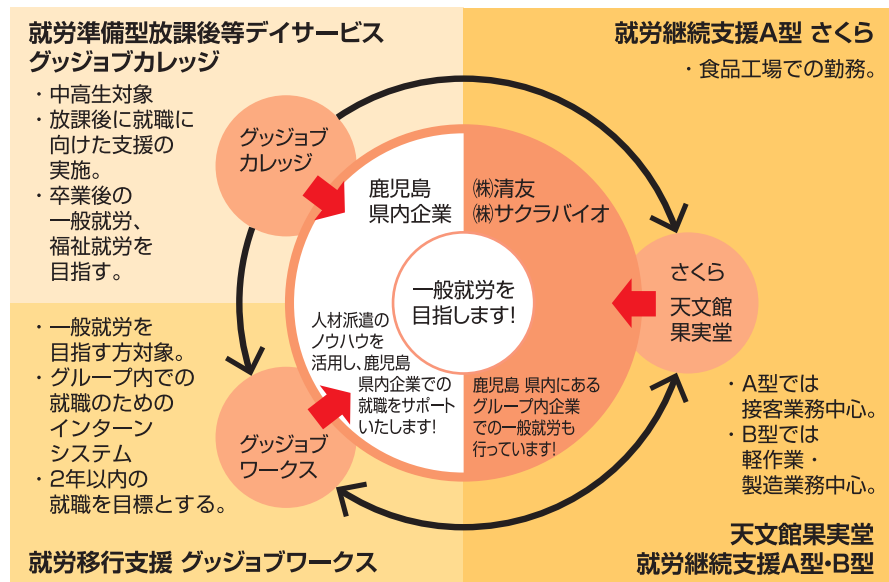


季節性のあるパフェ



「水族館の果実堂」パフェ

<事業展開の可能性>



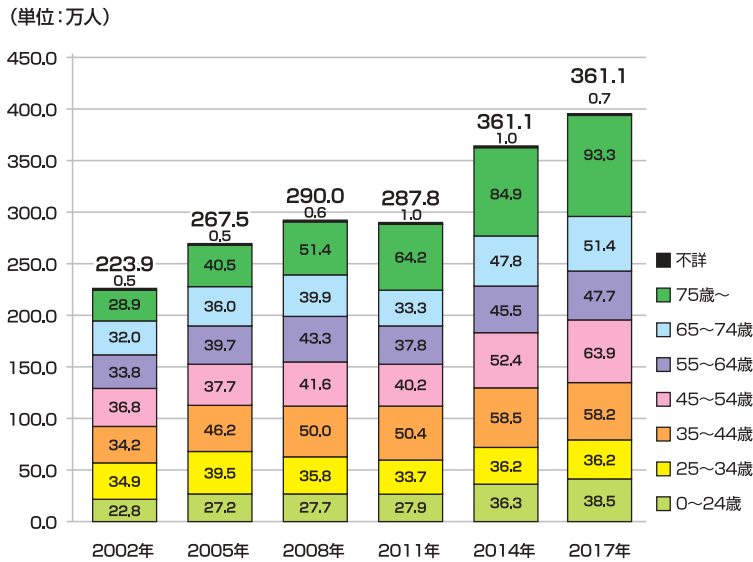
展開の仕方は 様々の福祉事業

今年の2月からは、グループ会社で鹿児島市にある、いおワールドかごしま水族館に「水族館の果実堂」もOPENしました。今後の展開ですが、やはり利用者の方々がいかにサポートして働いていただけているのが嬉しく、フルーツパーラーではないスイーツ専門店の出店も考えていますが、福祉事業は本当に展開の幅が広く、放課後デイ等の拡充も進めています。やはり、自分たちの会社で障がいを持つ未就学児の学習機会の提供から、彼らの自立までのサポートを行い、地域の課題を解決できるのがやりがいを感じます。

障がい者数・予算共に増加 今後市場拡大する福祉業界

令和3年版の厚生労働白書より、障がい者の総数は964.7万人と発表されました。最も多いのは身体障がい者で436万人、次いで精神障がい者が約419.3万人、知的障がい者が約109.4万人という結果になりました。単純に計算すると日本の人口の約7.7%が障がい者ということになります。左記のグラフからも分かるように、今後も障がい者数は増加していくと考えられます。

＜障がい者数の推移＞



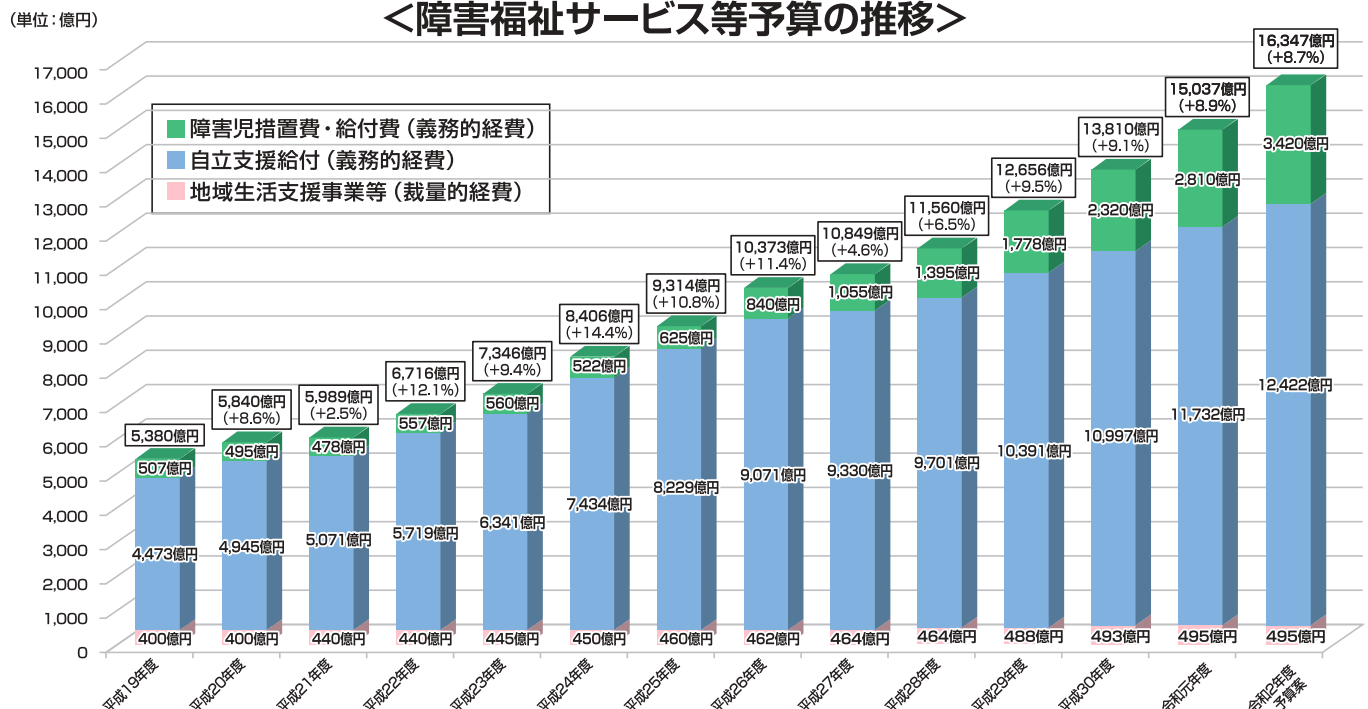
また、令和3年3月1日からは、障がい者の法定雇用率が2.3%に引き上げられました。障がい者数の増加に伴う就労事業所のニーズが高まり、それをサポートする国家予算の増加など、今後も障がい福祉業界は市場が拡大していくでしょう。

事業主区分	法定雇用率	
	これまで	現行
民間企業	2.2%	2.3%
国・地方公共団体等	2.5%	2.6%
教育委員会	2.4%	2.5%

障がい福祉サービスに関連する予算額は年々増え続けており、利用者も増加傾向にあることから、まだまだ成長が見込める業界です。また、生産年齢人口は減り続け、採用難時代の今、どのように労働者を確保するかは喫緊の課題です。国は、生産年齢人口を確保するために、障がい者や外国人労働者、女性などの分野でそれぞれ目標数値を設定して、労働力の維持に積極的に取り組んでいます。

今後も市場拡大する障がい福祉業界 予算額は10年間で約2倍に！

＜障害福祉サービス等予算の推移＞



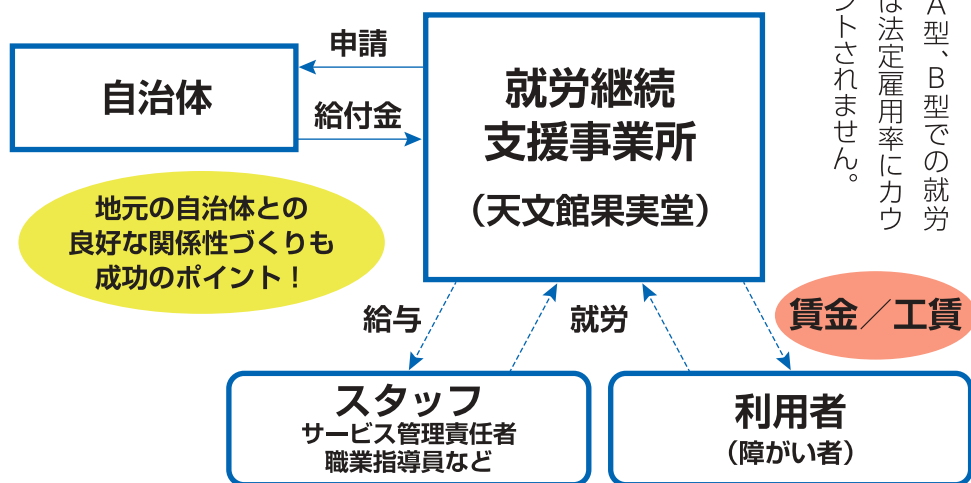
出典：厚生労働省 障害保健福祉部 平成30年度障害保健福祉関係予算案の概要

なぜ「スイーツ×就労支援」は 高収益を実現できるのか？

障がい者就労の仕方は主に3つあり、障がい者を直接雇用する「一般就労」、就労支援の制度を利用して雇用する「A型」、「B型」があります。

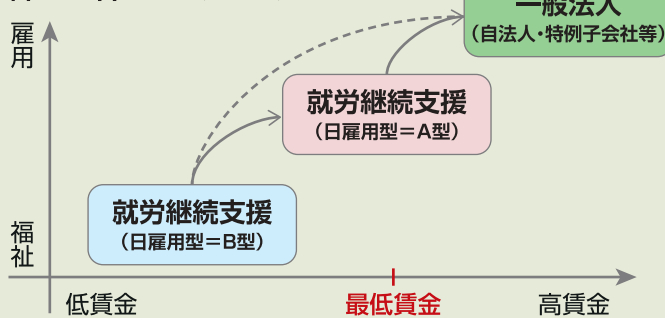
※A型、B型での就労は法定雇用率にカウントされません。

<就労継続支援事業所の概要>



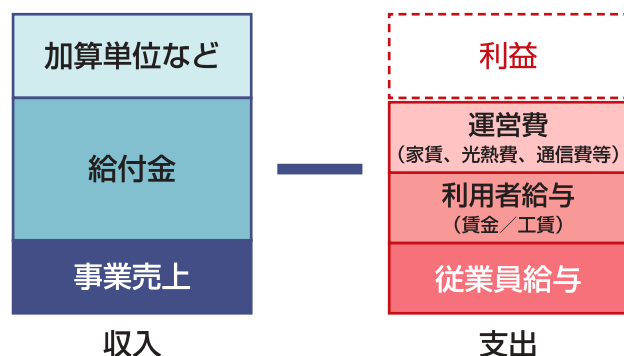
法定雇用率が引き上げられていることから分かるように、国は障がい者の労働力化を推し進めています。したがって利用者のスキルアップができ、一般就労へと送り出すA型・B型事業所は大都市や地方問わず、今後ますます求められていくでしょう。ただし、利用者本人はもちろん、その家族が「ここを利用したい、ここに通わせたい！」と思ってもらえる魅力ある職場環境づくりが大切です。そういった部分では、今回紹介するスイーツ事業は、まさにぴったりとと言えるでしょう。カフェやスイーツに携わる仕事は、障がい者にとっても憧れの職場である印象が強く、利用者の獲得に困らないのも特徴です。

障がい者のステップアップイメージ

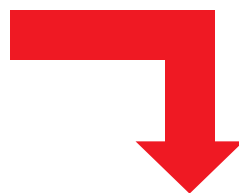


高収益を実現する収益構造の仕組み

<一般的な収益構造>



「天文館果実堂」のケースで考えると。。



店舗月商 約400万円
保険収入 約600万円

営業利益 約300万円
原材料費など 約250万円
人件費・家賃 約450万円

営利20% 超え！

収益構造や各事業所の開設については、セミナー当日に福祉専門のコンサルタントより詳しく解説いたします！



株式会社 船井総合研究所
保育教育福祉支援部 福祉グループ **金子 理彩**

※2021年12月の場合

障がい者雇用の成功ポイントは 今伸びている 「単品スイーツ専門店」

1. 経験者&職人不要✓
2. 商材を絞り高収益化&生産性アップ✓
3. 坪数が少ないので低投資✓

なぜ成功企業が スイーツ専門店を選ぶのか

人口減少と市場の成熟化により、売上規模の拡大が難しくなった国内市場では、利益率をより重視した経営手法が進んでいきます。また、消費者の購買行動も消費は「本当に自分が欲しいもの・価値のあるものを選ぶ」傾向に変化してきました。

購入を通じて得られる満足感や、感動といった感覚的な価値を企業が提供することが求められているのです。単品専門店は、そういった消費者を魅了する「自社が一番になれる」新しいカテゴリーを見出すことが可能です。

ポイント1

**菓子職人不要！
パートだけでも製造が可能**

単品スイーツ専門店は、商材（チョコレート、大福、チーズケーキ、タルト等）を二つに絞るこむことで、素人でも何十種類ものスイーツを展開する洋菓子店よりも高品質な商品が製造できます。経験者を採用することで、自分の経験を基に進めることもあり、逆に思ったように事業が進まなくなったり、味の均一化が難しくなることも少なくなありません。

船井総研の提案するスイーツビジネスモデルは、有名パティシエとパートナーを組み、レシピづくり、製造の効率化、マニュアル化など、スイーツ専門店の始める際に必要となるサポートをさせていただいております。既存事業の課長・部長クラスを管理者においていただき、あとはパート・アルバイトで製造が可能です。

ポイント2

**単品に絞って
高収益化&生産向上**

単品スイーツは商品構成が少なくても良いため、ロスが少なく製造効率が高く、結果的に利益率が高くなります。また、工程の複雑さが少なく、障がい者のための業務の切り出しが容易に行えます。セミナー当日は立地条件、品揃え、単価設定、必要機器などすべて詳しく解説いたします。

ポイント3

**初期投資1500万円〜
少ない坪数で始められる**

工房は約3坪、売場が約7坪、販売スペースが約3坪など、ミニマム15坪程度で始められることから、小投資での出店が可能です。まずは何人の利用者に利用してもらいたいのか、目標数値を決めて坪数を検討していければと思います。本店は小さく始めて、2号店目で広めの店舗を出店するケースもございます。



実演付き工房が人気の秘密..

株式会社 船井総合研究所

地方創生支援部
食品・観光グループ

正村 陸

成功事例✓

7坪の小型店舗で 単店年商1.2億円超え

観光地に7坪の小規模店舗でのプリン専門店をオープンしたX社。インスタ映えする商品や世界感を表現し、単店で1.2億円を売り上げる超人気店へ成長。初期投資の2,500万円を約1年半で回収。味もおいしく、ここに来たら食べたいスイーツとしてメディアにも継続的に取り上げられています。現在2号店目もオープンし、そちらも順調です。



画像はイメージです



成功事例✓

商材を絞って二点突破 1アイテムのみで年商2億円超え

チョコレートブームの火付け役である行列のできるチョコレート専門店Y。もともとは飲食店でしたが、今ではガトーショコラ専門店へ。路地裏3等立地でチョコレート1品で年商2億超えを達成しています。

自慢のガトーショコラは1本3,000円という高単価、ネット販売をしないにも関わらず爆発的ヒットを更新中。「ここでもしか買えない」という限定感に魅了され、次々と人が集まる名店です。

自家用だけではなく、手土産需要をうまく獲得したのが成功のポイントです。



画像はイメージです

成功事例✓

就労支援Xお芋スイーツ専門店 月商700万円超え

商圏人口20万人のエリアで、お芋スイーツ専門店を就労支援事業と絡めて実施しているZ社。A/B多機能型の就労支援で利用者を集めています。焼き芋やお芋プリン、芋けんぴ、スイートポテトなどをラインナップするお芋スイーツの専門店で、40坪の製造拠点と20坪の販売拠点を持ち、製造拠点を就労支援の作業場として使用しています。店頭でお芋のモンブランを絞る演出がSNSで拡散されやすく、多くの地域住民から支持されるだけでなく、遠方からわざわざ訪れる顧客も出てきています。オープンから毎月500万円以上を売上げ、最も多い月には700万円を超えました。



画像はイメージです



天文館果実堂から学ぶ

スイーツ専門店×障がい者雇用事業に 『今すぐ』飛び込むべき 3つの理由

メリット 01

障がい者の方の経済的
自立をサポートし、
地域にとつてなくては
ならない企業へ

メリット 02

圧倒的な社会性と
収益性

メリット 03

採用難の時代でも
採用に困ることナシ！

国としても地域としても障がい者の戦力化は喫緊の問題であり、就労継続支援事業を付加させることで、あなたの会社が地域にとつてなくてはならない企業になることは間違いないありません。

就労支援で育成した障がい者の方を、将来的には自社の正社員として雇用することもできます。貴重な戦力として活躍が期待できるだけでなく、人材不足の解決にも直結します。

また、多様な人材を受け入れることで、社員教育の場となるだけでなく、企業としてのダイバーシティを推し進めることができます。



地元の名店となり、地元客はもちろん、観光客にも大人気の「天文館果実堂」。SNSフォロワー数はなんと8000人超え！

この「スイーツ」×「障がい者雇用」という事業は、本業を支える柱となります。「単品スイーツ専門店」だけをとても高収益化ができる業態であり、そこに就労支援の保険収入を掛け合わせることで、さらに売り上げを拡大できます。生産活動収入（障がい者によってなされた業務のことで、ここではスイーツ店の売上を指します）から十分に賃金、工賃を支払うことができるだけでなく、利用者やスタッフがさらに働きやすい環境を作るための資金として運用できます。

障がい福祉事業は比較的新規参入しやすく、高収益が見込めるので、本業に負担なく始めることができる、おすすめのビジネスモデルです。

現在もなお、狭い作業場で内職業務や細かい作業をしている、というような就労継続支援事業所は少なくありません。しかし、今回ご説明させていただく「スイーツ」×「障がい者雇用」事業では、明るくきれいな店内で、そしてお客様の笑顔や、ありがたうという感謝の言葉が届くところで障がい者の方が働くことができる環境です。

また皆様ご存知の通り、お菓子屋さんには多くの方にとっての「あこがれの職業」です。だからこそ、多くの障がい者の方から人気の事業所として運営できるだけでなく、障がい者の方のみにとどまらず、福祉業界での仕事をしたいという従業員の方も採用することができます。

今後もまだまだ続く採用難の時代ですが、障がい者雇用でまさに採用に困ることナシ！の企業にしていきたいと思います。

このDMをご覧いただいた方限定!

現場の様子をダイジェストでお届けいたします!

鹿児島県「天文館果実堂」

店内やお仕事の現場様子を是非ご覧ください。

こちらのQRコードを
スマートフォンで
読み取っていただくと
動画が視聴いただけます!



続きは是非
セミナーにて
ご覧ください!

セミナーで取り上げる内容一覧

- ◆障がい者就労支援事業の
必要性と魅力
 - ◆スイーツ事業との親和性
 - ◆障がい福祉業界の現状とこれから
 - ◆障がい福祉事業の種類と決まり
 - ◆これで採用に困らない!職員採用方法
 - ◆働いていただく障がい者の方の集め方
 - ◆営業を成功させるためのポイント
 - ◆天文館果実堂の現場視察動画
 - ◆天文館果実堂の売上
- ◆天文館果実堂の店舗詳細
 - ◆天文館果実堂で障がい者の方が
行っている業務とは?
 - ◆単品スイーツ店モデルが高収益を
実現できるその理由
 - ◆スイーツ店運営に必要な工夫
 - ◆スイーツ専門店の立地の選び方
 - ◆何を売る?商品選定
 - ◆スイーツ店の『ブランド』づくり
 - ◆行列ができる店舗販促
 - etc...

最後にコンサルタントから皆様へ

ここまで本DMをご覧いただきまして、誠にありがとうございます。株式会社船井総合研究所の金子理彩と申します。

これまで、飲食事業および障がい福祉事業を営む法人様のコンサルティングに関わってまいりましたが、他社とのサービスの差別化や、各業界での「生き残り方」に悩まれている法人様が非常に多いことを現状として感じています。

今回皆様にお届けさせていただいた内容は、今後も福祉業界で必要とされ続ける就労継続支援事業において、一般社団法人グッジョブかごしま様が運営する「天文館果実堂」のモデルを取り上げたものです。紙面のスペースの関係上、本DMではビジネスモデル成功の細かなポイントやコツについてはお伝えしきれっておりません。その代わりに、本DM記載のセミナーにてすべてをお伝えさせていただきます。

本DMで終わらず、セミナーにご参加いただき、事業成功の秘訣を得て、社会から必要とされ続ける企業への発展に繋がっていただければ幸いです。



株式会社 船井総合研究所
保育教育福祉支援部
福祉グループ

金子 理彩

高収益化と社会貢献を実現!

スイーツ専門店×障がい者雇用 成功事例セミナー

こんな方に
おすすめ!!

- ✓ 通所介護・訪問介護を運営されている経営者様
- ✓ 本業の売上げが伸び悩んでおり、新しい事業の芽を探している経営者様
- ✓ 事業を多角化させて経営を安定させたい経営者様
- ✓ 障がい福祉事業の次なる展開を検討されている経営者様
- ✓ 就労継続支援で高い売上(生産活動収入)を獲得したいとお考えの経営者様
- ✓ 「障がい者さんが働くお店」としてではなく「おしゃれで人気のお店」として就労支援事業を運営したい経営者様

講座内容&
スケジュール

2022年 2月14日(木)・24日(水)・3月2日(水)・9日(金)・18日(金)・25日(金)
WEB開催 13:00~16:00(ログイン開始12:30~)

講座

セミナー内容

第1講座

13:00~13:20

就労継続支援×スイーツ専門店なぜ【今】おすすめなのか?

株式会社 船井総合研究所
保育教育福祉支援部 福祉グループ 福祉チーム リーダー

中谷 文哉



第2講座

13:20~14:05

障がい者就労継続支援事業の仕組みと成功のポイント

株式会社 船井総合研究所
保育教育福祉支援部 福祉グループ

金子 理彩



ゲスト講座

第3講座

14:05~15:05

大人気スイーツ店「天文館果実堂」でのビジネスモデルの仕組み

一般社団法人 グッジョブかごしま
代表理事

宮之原 綾子氏



第4講座

15:05~15:45

スイーツ専門繁盛店の作り方

株式会社 船井総合研究所
地方創生支援部 食品・観光グループ

正村 陸



第5講座

15:45~16:00

本日のまとめ

株式会社 船井総合研究所
保育教育福祉支援部 福祉グループ 福祉チーム リーダー

中谷 文哉



WEBからのお申し込み



OPEN!

右記のQRコードを読み取りいただきWEBページの
お申込みフォームよりお申し込みくださいませ。

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/081264>

セミナー情報を
WEBページからも
ご覧いただけます!

